

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	ヨシダ ヒロミ 吉田 弘美	職名 人間学部	講師 心理福祉学科	取得学位 (大学名) (取得年月)	修士(健康福祉) 東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科 2005年3月
------------	------------------	------------	--------------	-------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
①社会福祉士 2021 年度カリキュラムにおける実習教育研究会の実施	2022・10～	令和5年度より開始される「新カリ実習」へ向けて、宮城県内の養成校・社会福祉士会・実習指導者からメンバーを構成し、実習の枠組みの共有や実習教育・指導のあり方を検討することを目的に研究会を発足した。月1回(第1土曜)を定例会として、情報交換や共同研究を行っている。
②介護実習事例報告会の実施	2018.4～2023.3	介護福祉士養成課程では最終段階の介護実習終了後に、現場で学んだ受け持ち利用者の介護過程の展開を振り返り、事例報告集を作成している。特に、アセスメントと考察の個別指導を丁寧に行い、学生と語り合う中で介護観・福祉観をみつめる機会としている。 可能な限り、在学生、施設の実習指導者や入学を予定している高校生に参加を働きかけ、プレゼンテーション方法の向上につなげている。
③生活支援技術の授業展開の工夫	2018.4～2022.3	「移動の介護」では、1年次の基礎学習を発展させ、泉中央付近での車いす外出を2年次に実施した。グループで立案した外出支援計画書に沿って体験学習を行い、事後指導にはレポート作成や報告会を行った。要介護者および介護者、地域住民の立場で多角的に考察することができた。また、「福祉用具の活用法」の単元では、リハビリテーション工学の視点から評価する演習を行い、観察力、分析力を養った。
④「心理福祉基礎演習ⅠⅡⅢⅣ」ゼミ研究成果報告会の開催	2018.4～	初年次教育の学部共通科目「共通演習」を発展させ、「心理福祉基礎演習」で身近な地域課題にかかわるフィールドワークに向けて指導している。また、学科基演習の成果発表の機会として、白百合祭ならびに公開講座を企画運営する。学生の主体性・協調性・プレゼンテーション力を高め

⑤「心理福祉専門演習ⅠⅡⅢⅣ」の授業展開の工夫	2018.4～	<p>ると同時に、学科の教育の特色をアピールしている。</p> <p>ゼミの大テーマである「施設における高齢者や障害者の生活のあり方」をもとに、学生自身の問題意識を尊重しながら研究テーマを設定している。文献研究のほか学外授業も取り入れ広い視野で学習を深めている。成果として、3年・4年合同の報告会やゼミ論の執筆、2021年度入学生からは学科必修として卒業研究指導に取り組む。</p>
⑥「国際福祉体験実習」研修報告書の作成	2018.4～	<p>心理福祉学科のグローバルWG担当として、研修の企画立案と運営に携わる。2016年度以降は活動報告書を作成し、学科の成果物としてオープンキャンパス等で紹介している。</p>
⑦「介護総合演習ⅠⅡⅢ」の授業展開の工夫	2018.4～	<p>介護実習の事前教育(アクティブラーニング)として介護現場を訪問し、学生自身が主体的に企画したアクティビティを実践することで、利用者とのコミュニケーション力や個別ケアの実践力を養った。</p>
⑧学生生活実態調査の実施	2019・8	<p>2014年度に初めて実施された学生生活実態調査から5年が経過し、学生の動向や変化を把握するために2回目の調査を行った。教学委員会のワーキンググループリーダーとして取りまとめを行う。回収率を上げるためにweb調査とし、結果は大学ホームページ上で公開した。</p>
⑨「共通基礎演習」	2020.4～2021.3	<p>本学の初年次教育の基礎となる学部共通科目として2019年度より開講し2年目となる。2020年度の科目担当として、授業案作成など教育プログラムの検討を行った。</p>

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
【実践報告】 「地域住民を対象としたレクリエーション事業の 実践—2023 年度レクリエーション・インストラクタ ー養成課程認定校としての取組—」	共	2024・3	教職課程研究センタ報,2023 年度,第3号,	家子敦子 仁藤喜久子		33-38
〔論文〕 「介護過程の展開」実践力育成の課題	共	2022・3	聖和学園短期大学紀要 第 59 号	家子敦子 東海林初枝		117-135
〔報告書〕 「介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究 報告書」第 3 報	共	2022・3	社会福祉振興関係調査研究 事業の助成研究 社福振福 二第 44 号	本名 靖 東海林初枝 家子敦子 久田はづき 山川ひかり		1-68
〔報告書〕 「介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究 報告書」第 2 報	共	2021・3	社会福祉振興関係調査研究 事業の助成研究 社福振福 二第 44 号	本名 靖 東海林初枝 家子敦子 久田はづき 山川ひかり		1-53
〔報告書〕 「介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究 報告書」第 1 報	共	2020・3	社会福祉振興関係調査研究 事業の助成研究 社福振福 二第 44 号	本名 靖 東海林初枝 家子敦子		1-63

[論文] 「環境因子から見た介護福祉士養成の現状」	単	2017.3	仙台白百合女子大学紀要 第 21 号		87-97
[報告書] 東日本大震災における支援物資としての介護機器 の支援状況に関する検証研究	共	2013.5	第 23 回フランスベッド・メディカ ルホームケア研究・助成財団 報告書	吉田泰三 樫本堅一 他 1 名	1-30
[研究ノート] 初めての施設実習で遭遇した気がかりと感じた場 面の分析～第1段階介護実習のリアクションペー ーより～	共	2011.1	仙台白百合女子大学 紀要 第 15 号	家子敦子	89-96
[資料] 介護福祉士のための福祉用具評価ツールに関す る一考察	単	2011.1	仙台白百合女子大学 紀要 第 15 号		97-107

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
(共)熊本地震における「支援物資としての福祉用具」に関する研究	2017.8	第 32 回リハ工学カンファレンス(兵庫県神戸市)
(共)介護職員に向けた介護過程展開シートの考案 －介護過程展開法の施設研修の実施より－	2014.10	第 12 回日本介護学会(山口)
(共)施設介護職員へのキャリアアップ支援〔第 3 報〕 －介護過程実践研修前後の意識の変化－	2013.10	第 21 回日本介護福祉学会大会(熊本)
(共)「施設介護職員へのキャリアアップ支援」 －現場の実事例を用いた介護過程の実際－	2012. 9	第 20 回日本介護福祉学会大会(京都)

Ⅱ 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本介護福祉教育学会		2001.4
日本介護福祉学会		2002.4
日本介護学会		2004.3
日本社会福祉学会		2005.3
日本行動療法学会		2009.6

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
公益財団法人 日本レクリエーション協会	2023	令和5年度研究 助成事業	レクリエーション課程認定校が開催する地域交流「健康スポレクひろば」の実践 —レクリエーション活動が高齢者にもたらす健康効果—	4.5 万円
公益財団法人社会福祉振興・ 試験センター	2019	社会福祉振興 関係調査研究 事業の助成研 究 社福振福二 第44号	介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究(Ⅰ期)	300 万円
公益財団法人社会福祉振興・ 試験センター	2020		介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究(Ⅱ期)	300 万円
公益財団法人社会福祉振興・ 試験センター	2021		介護福祉士養成継続研修の体系化に関する研究(Ⅲ期)	298 万円

3. 特記事項

[非常勤講師]

・白百合学園高等学校 2・3 年生「福祉総合」2018・12-2019・1、2023・11

[研修会講師など]

・平成 26 年度介護福祉士養成施設実習指導者特別研修会講師(「介護過程の理論と指導方法<演習>」担当) 2014・7

[教員講習会の受講状況]

・社会福祉士・精神保健福祉士実習演習担当教員講習会修了 2019・8・

・介護技術講習会主任指導者 2008.9

介護教員講習会修了(厚生労働省)2007・10

[委員等]

・宮城県「ケアスタッフサポートセンター」相談員 2023・7-2025・3

・みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度(第 2 段階)確認調査員 2020・4~

・社会福祉法人仙台白百合会評議員 2017・4~

・第 26 回介護福祉士国家試験(実技試験)実地試験委員 2014・3

・平成 25 年度仙台市泉区介護認定審査会委員 2013・4~2017・3、2019.4~

・平成 23 年度介護福祉士養成施設卒業時共通試験問題作成協力員 2011・7

[社会貢献など]

・いずみ絆プロジェクト事業「しらゆり健康倶楽部」2023・6~2023・11

・平成 24 年度被災者就労支援事業 2 級訪問介護員養成研修 2013・1、2013・2

・被災者就労支援事業 2 級訪問介護員養成研修 「高齢者、障害者の心理」、「相談援助とケア計画の方法」、「実習前指導」の講義担当 2012・2

・宮城県介護福祉士会の要請により、東日本大震災時の避難所での夜間介護支援に従事する。2011・3、2011・5

[宮城県介護従事者人材確保対策事業]

・2018 年度 宮城県介護従事者人材確保対策事業入学促進事業(94 万円)

・2017 年度 宮城県介護従事者人材確保対策事業入学促進事業(530 万円)

[学内活動]

・仙台白百合女子大学後援会理事 2019・4～2020・3

・2019 年度学生生活実態調査の実施、報告書作成(教学委員会副委員長)2019・4～2020・3

・白百合カフェ(認知症カフェ)の開催 2016・3～2017・3

・2014 年度仙台白百合女子大学出張講座 2014・6(三戸高校)、2014・11(石巻北高校)

・サークル「チアリーダー部 VELVETS 顧問 2010・4～ (現在、休部中)